

きびしい緊張感のあるみかしほ学園
自ら学ぶ力と、学ぶことを喜ぶ学生
清潔な美しい環境、他者を敬愛する心
大きな希望と先見性のある学生
実践する力と根気強さのある学生

みかしほ

MIKASHIHO GAKUEN 2012/1 No.570

発行者 学校法人みかしほ学園
印刷者 みかしほ学園
発行所 学校法人みかしほ学園
姫路市東延末2-165
TEL(079)288-2600

定価 150円

輝け！ 未来に

輝ける2012年の新春を
迎えみかしほ学園の学生諸君
及びご父兄とご家族の皆さん
にご祝辞を申し上げます。

日本は二十世紀の始めより
世界の列強におびやかされな
がら遂には大東亜戦争に突入
し祖国を守るため多くの善良
な国民が戦死し残念ながら敗
戦を迎えました。しかし残っ
た日本人の多くが歯を食いし
ばり祖国の再建に尽した結果
このすばらしい国が再生しま
した。海外旅行した人は解る

と思いますが日本はすばらし
い国です。諸君等はこのすばら
しい国において知識と技術と
徳育を勉強して先代の人々が
作った国を益々発展させ、続い
て海外にもその技術や食文化
を拡げ活き甲斐のある世界を
創り人類の幸福と発展のため
に努力されんことを祈ります。
有名なクラーク博士が「少年
よ大志を抱け」と云われたの
は「少年よ野望を抱け」が本意
です。どうぞ青春をその意味で
有意義に活きられん事を！

Happy New Year
2012



おせちとは、
神様にささげたごちそう

おせち料理の起源は、紀元前
2〜3世紀にさかのぼります。
当時の人々は、季節の節に四
季折々の収穫物を神に供え、供
えた物を料理して食べていまし
た。これが「おせち料理」の始
まりです。この節目の日の料
理、いわゆる五節供（節句）

入日＝1月7日、上巳＝3月
3日、端午＝5月5日、七夕＝

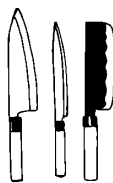
7月7日、重陽＝9月9日
の中で特に重要なお正月料理を

「お節句」と呼ぶようになり、の
ちに「おせち」と変化してい
きました。

「おせち料理」は、無病息
災、子孫繁栄を願い、各料理そ
れぞれにめでたい由来を持って

「卒業検定について」

包丁等実習用品の手入れが出来ない者は卒業できません



毎年3月になると、保護者の方
から「どうして卒業出来ないの
ですか」という質問が必ずあり
ます。また「何とか卒業させて下
さい」と懇願されたりもします。

しかし、しかし、単位の不足
している学生を卒業させるわけ
にはいかないのです。養成施設
指導要録の「学生に関する事
項」には、「修業期間内に規定授
業時間が履修できない場合は、
卒業を延期し、補習等により不
足時間を補った後に卒業させて
差し支えないこと」という一文
があり履修時間に不足があると
養成施設の卒業とは認められな

1月26日には、専門調理師へ
の第一歩「技術考査」が在校生
を対象におこなわれます。こ
れに合格すると専門調理師学
科試験が免除されます。皆さ
ん合格を目指して頑張って下
さい。

短信

労働大臣の定めた栄養士・調理
師・製菓衛生師の養成施設であ
り、学内で行う筆記試験・実技試
験は国家試験と同じであり、出
席状況だけでなく、包丁等実習
用品の手入れは「食」を学ぶ者
として当たり前のことでありま
す。学生、教師、保護者が共に楽
しい卒業式を迎えられるように、
学生生活を充実したものにす
いていきましょ。

この専門調理師試験制度は、
昭和57年に創設されました。
その目的は、調理の技術・技能
を高め調理師の地位向上を図
り、食文化の発展、国民の食生
活の向上・改善に寄与するこ
とです。この試験に合格する
と、厚生労働大臣より「専門調
理師・調理技能士」の称号が与
えられます。



「してみせて言ってみせて聞かせて、
させてみてほめてやらねば人は動かず」

叱られ上手な人間になろう!!

犬や猫でも叱られるといやな顔をする。叱られるのは、いくつになってもいやなことである。職場で叱られるのは当たり前のことだが、ときには腹も立つような叱り方をされることもある。それは自分がミスをしたのではないのに叱られるとき。

先輩が自分のミスを下の者のせいにするのもよくあるものだ。

また上の者の虫の居所が悪くて、やたらに叱りつけるとき、自分が叱られた腹いせに下の者を叱りつけるとか……いろいろある。

しかし、いついかなるときに叱られようと態度はただ一つ。素直に叱られて「すみません」と大声で謝るのがルールであり、社会人のマナーなのである。

自分がやったことでないミスにも「すみません」と謝る。それこそ封建的ではないかと憤慨するかもしれないが、職場でいちいち説明したり釈明したりする時間がないのが普通だから、その場をサッとやり過ごして仕事を進行す

るほうが上策。

そして叱られることは、自分のミスなら次回から改めればいいし、他人のミスや上司の八つ当たりはすぐ忘れるのがいい。言った方も理不尽なのは百も承知。だまって叱られた人間に対して反感を持つわけがない。それすらわからない者は人間として下なのだから、そんな人間を相手にクヨクヨしたつてつまらない。忘れることである。

叱られるときは、陽気人間になつて叱られること。陽気とはおしゃべりや賑やかということではなく、物事を前向きに考え、くよくよせず、こだわらない人間という意味である。加えて、コツコツ真面目に仕事にとりくむこと。軍神といわれた山本五十六師がよく言われたことばに「してみせて、言っただけは動かさず……」

ということが、真実をいいあてていると思う。

叱る方は叱ると同時にほめ言葉の用意をかならずしておくことも大切。そして明るくカラッと叱ら

れることのできる人間は、いつか花咲いて、立派な社会人になることができ、いつか叱り上手な人間になることができるはずである。

以上述べたことは、人間が生きていく上での心得である。この程度のことがマスターできないようでは、どんな社会に行ってもうまくいくわけではないことを、就職を前によく理解しておいてください。みかしほ学園の学生諸君!!

人生をどう過ごすか

好きこそものの上手なれとは言っ

けれども、なかなか自分が好きなことを見つけないことが出来ない若者が急増している。ましてや、この不況下、先が何も保障できない状況で、好きなことを見つけたとしてもなかなか思い通りにはならないものである。キレイやすい、あきらめやすい、後先を考えずに行動するなど、現代の若い世代に広がる好ましい風潮は果たしてどういつぶりに改善すればよいのだろうか。

まず、僕たちは自分というものを見つめ直さなくてはいけないと思う。今自分は何をしているのか、何がしたいのか、どうなりたいのか。自分

課外研修報告

日本栄養専門学校は、11月30日から3日間、課外研修にいきました。楽しく有意義な研修になりました。



「白い恋人パーク」にて

の行動に責任を持ち、正しく生きることが必要ではないかと思う。いつの時代も、近ごろの若者は…と若者達は言われ続けてきた。しかし、近ごろの若者は…と言われていた人達が、また近ごろの若者はと繰り返す。これは大人と若者の視点の違いによって生ずる問題だと思つ。若者の置かれている立場はいつも不変である。大人と若者が共に手を出し合えば何事も解決すると思つ。今の世の中でも、若者達は投げやりになつたりせず、マイペースに頑張つていくといいと思つ。誰もが不安を抱えて生きているし、

日本調理製菓専門学校は、12月1

2日に一泊二日の日程で、課外研修に行きました。楽しく、かつ有意義に過ごした二日間は学生時代の大切な思い出となったことでしょう。



「ナガシマスパーランド」にて

一度しかない人生をどのような過ごし方は本人次第である。自分の好きなことを見つけて極めれば、必ず幸せになれるわけではないが、充実した生活を過ごすことはできる。僕は幸せとは追いかけても逃げるN極とS極みたいなものだと思つ。ある日突然やって来るかもしれないし、来ないかもしれない。だからといって、そこであきらめず、何事も一生懸命頑張ることが大事だと思う。僕は自分のやりたいことを精いっぱい自信を持ってすることが正しく生きることではないかと思う。神戸新聞より